

目標達成計画

作成日：令和元年5月28日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	26	介護計画のなかに利用者の個別性が少ない。	「身体介護」「利用者と家族の意向」「個別性」の3大要素を取り入れた介護計画を作成する。	日々の利用者様との関わりの中で本人の希望を職員が傾聴し、記録に残し、ミーティング等でケアの仕方について話し合い、介護計画作成者が取り入れ、より個別性の高い介護計画を作成し、介護者が計画を実施できるようにする。	6ヶ月
2	33	看取り対応について不安がある。	今後、入居者が重度化していくことも見据えて、職員が不安にならぬよう、看取り対応の知識を身につける。	定期的なミーティングや勉強会で看取り対応をテーマに取り上げる。具体的には重度化していく中での看取り対応の手順書の作成や、看取り後のメンタルケアの準備などについて勉強する機会をつくる。	6ヶ月
3	10	家族会が開催されていない。	開設1周年を記念し、家族会を開催する。	ご家族が利用者様とともに時間を過ごせる「ランチ会」を開催し、参加してもらうことで、グループホームという施設や利用者様の普段の様子について理解を深めてもらう機会を作る。	3ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。